





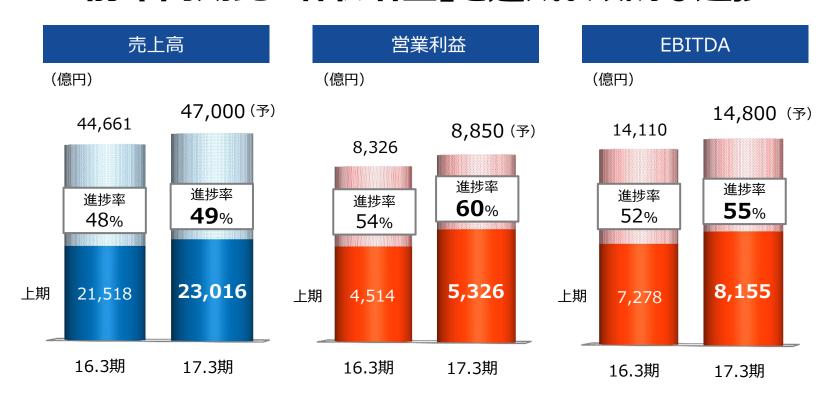
2017年3月期2Q決算

(2016年4月~9月)

2016年11月1日 KDDI株式会社 代表取締役社長 田中 孝司

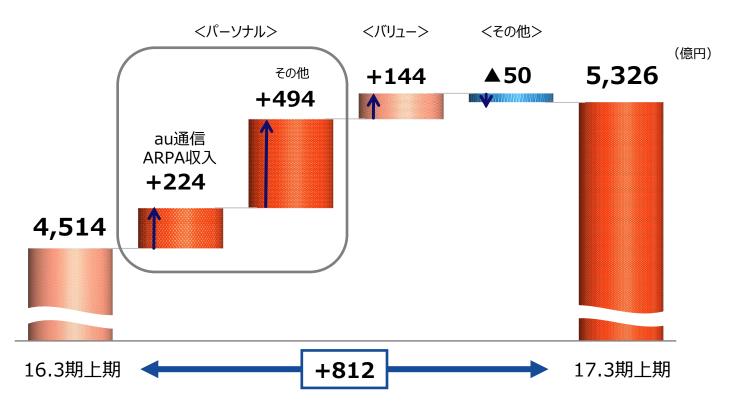
17.3期上期 業績ハイライト

前年同期比「増収増益」を達成。順調な進捗



上期 営業利益 増減要因

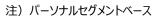
国内事業が増益に貢献。順調な進捗



au通信ARPA収入

2Q YOY +1.7%





2Q

16.3期

3Q

4Q

1Q

2Q

17.3期

(億円)

4,323

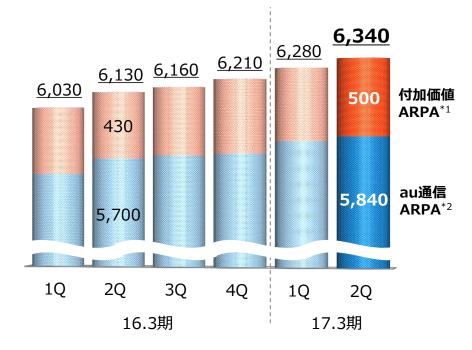
1Q

四半期推移

(円)

総合ARPA

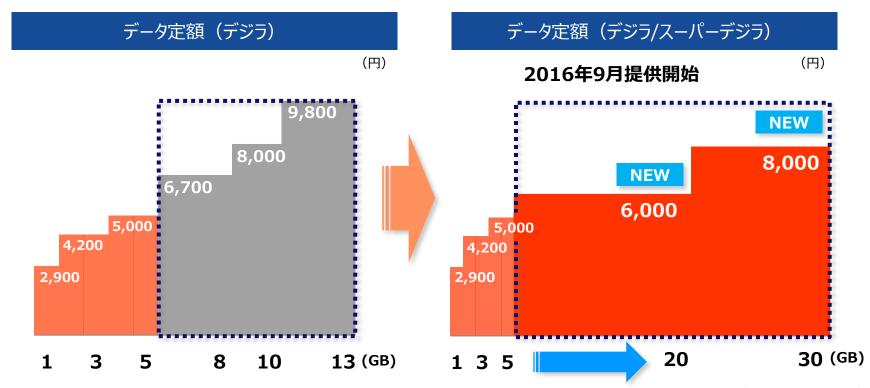
順調に成長



- *1) バリューセグメントベース
- *2) パーソナルセグメントベース

国内通信事業

データ大容量ニーズに対応した新プランを開始



4G LTEケータイ向け料金

月額1,500円からの プランを開始

新料金プラン(11月9日開始予定)

	スーパーカケホ+データ定額サービス
基本料* ¹ NEW	1,200円 (誰でも割適用時)
インターネット 接続サービス	300円
データ定額サービス*2 NEW	0円~4,200円
月額合計	1,500円 ~5,700円

注)表記の金額は全て税抜

- *1)1回5分以内の国内通話がかけ放題。1回の通話が5分を超えた場合、5分超過分につき30秒ごとに20円の通話料が別途必要
- *2) 月額定額料0円で500KBまでのデータ通信が可能です。500KB超過後は、ご利用のデータ量に応じ4,200円を上限として課金されます(1KB毎に0.03円)。なお、当月ご利用の通信量が合計で2.5GBを超えた場合、当月末までの通信速度が送受信最大128kbpsとなります

au 三太郎シリーズ

CM好感度22ヵ月連続No.1*



^{*}CM総合研究所 (東京都港区 代表・関根心太郎) より、2016年9月度の銘柄別CM好感度No.1に選出。2014年12月度以降、CM好感度No.1を22ヵ月連続で獲得し、CM総合研究所がCM好感度調査を開始した1989年1月度以降、連続ナンバーワンの新記録を達成

お客さま体験価値の提供を目指して

2016年、個人・法人においてお客さま満足度No.1を受賞



J.D. パワー "携帯電話サービス 顧客満足度 No.1"

「電話機」「提供サービス」 「各種費用」「電話機購入 経験」でトップの評価

出典: J.D. パワー 2016年日本携帯電話サー ビス願客満足度調査。日本国内在住の携帯 電話利用者計31,200名からの回答による。 japan.jdpower.com



J.D. パワー "モバイルデータ通信 サービス顧客満足 度No.1"

「端末・オプションサービス」 「手続き・サポート対応」で トップの評価

出典: J.D. パワー2016年日本モパイルデータ通信 サービス顧客満足度調査。調査はデータ通信専用 端末の個人利用者計2,750名からの回答による。 japan.jdpower.com



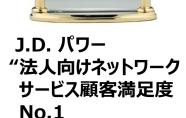
J.D. パワー "法人向け携帯電話・ PHSサービス顧客満 足度No.1

<大企業・中堅企業市場 セグメント> "

出典: J.D. パワー 2016年日本法人向け携帯電話・ PHSサービス顧客満足度調査: 携帯電話・PHSサービス を提供する事業者に関して従業員100名以上の上学 2,449社からの3,085件の回答を得た結果による(1社 につき最大2事業者の評価を取得)。 iapan.idoower.com



J.D. パワー "法人向けIP電話・ 直収電話サービス 顧客満足度 No.1"



<大企業市場セグメント>"

出典: J.D. パワ-2016年日本法人向けIP電話・直収電話サービス顧客満足度調査。IP電話・ 直収電話サービスを提供する通信事業者に関して 従業員100名以上の企業1,293社からの1,632 件の回答を得た結果による (1社につき最大2つ) サービスの評価を取得)。iapan.idoower.com 出典: J.D. パワー 2016年日本 法人向けネットワーク サービス顧客満足度調査。法人向けネットワークサービスを 提供する通信事業者に関して従業員1,000名以上の企 業443社からの635件の回答を得た結果による(1社につ き最大2つの通信事業者の評価を取得)。 japan_jdpower.com

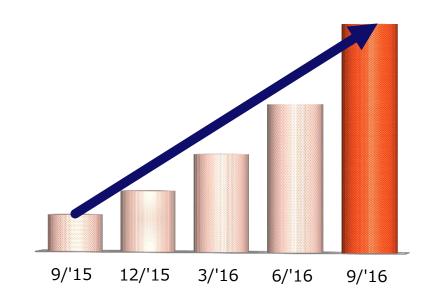
UQ mobile

UQとKVE*の合併から1年

(2015年10月1日合併)

サービスと販売チャネルの強化により契約数が伸長

UQ mobile 累計契約数





端末ラインアップおよびプロモーション強化により事業を推進

2016秋冬 端末ラインアップ



AQUOS L



HUAWEI P9 lite



olc@tel



OICOTE! SHINE



Zenfone 3 Deluxe



Zenfone 3



Zenfone 2 Laser



LG X screen

新CMを10月25日より全国でオンエア開始



ライフデザイン事業

~au経済圏の拡大に向けて~

住宅ローン



食品 日用品 でんき スマートフォン CATV

②お客さま タッチポイント



オンライン

500 70E >390E>2





生命保険

auショップ 全国約2,500店舗

損害保険

プロモーション・レコメンデーション

③イネイブラー

システム & プラットフォーム お客さま情報



購買情報



製品情報

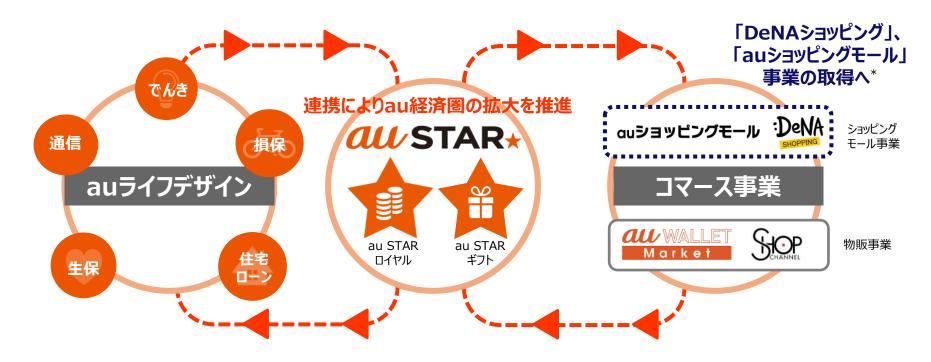
ポイント還元プラットフォーム / WALLETポイント

ビッグデータ / データマネジメントプラットフォーム (DMP)

決済プラットフォーム / auかんたん決済・au WALLET

auお客さま基盤 (=au ID)

au STAR連携や事業取得によりau経済圏の拡大を推進



^{*}株式会社ディー・エヌ・エー(以下、DeNA)が運営する「DeNAショッピング」、株式会社モバオクがDeNAおよび当社との協業で運営する「auショッピングモール」の両事業を吸収分割 の方法により、DeNAが新たに設立する子会社に承継し、当社において2016/12/28を目途に新会社の全株式を取得・完全子会社化予定

au STARギフト連携によりビデオパスをさらに推進

ビデオパス ビデオパス会員数 YOY +25% 見放題プラン 562円/月 9/'15 9/'16

au STARギフトとの連携

2016年9月実施分 au STAR会員登録いただいたお客さま 全員*1に540ビデォコイン*2をプレゼント

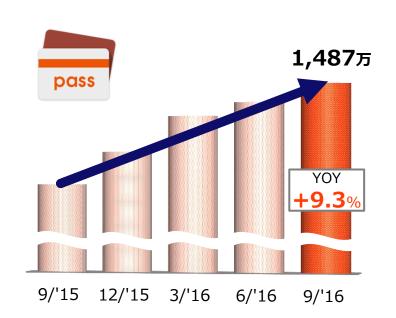


- *1) 機種などによりご利用いただけない場合があります
- *2) ビデオパスでのレンタル作品購入に1ビデオコイン=1円として使える独自ポイント

②お客さまタッチポイント

オンラインとオフラインの両面でタッチポイントを強化

auスマートパス会員数



新たなスタイルの直営店をオープン

「au SAPPORO」 6月23日オープン 「au みなとみらい」 10月6日オープン





通信とライフスタイルが融合した店舗デザインを採用 今後も様々なトライアルにより 「auライフデザイン」を提案する新たなお店のかたちを追求

決済プラットフォームの利便性を強化

auかんたん決済

auサービス以外の決済対応を拡大

主なauかんたん決済導入サイト

NEW 8月17日開始

NEW 9月1日開始

App Store/ Apple Music/iTunes およびiBooks対応

航空券支払い対応 Jetstarオ











au Wallet

プリペイド・クレジットカード有効発行枚数は **1,960万枚に** (2016年9月末時点)

NEW

10月25日開始

クレジットカードにおいて Apple Pay対応



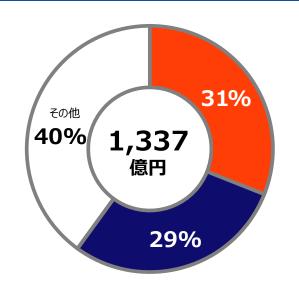


グローバル事業

グローバル事業

グローバルコンシューマ・ICT事業を中心に推進

17.3期上期 売上高 構成比



グローバルコンシューマ事業

成長ドライバー

MPT(ミャンマー)/ MobiCom(モンゴル)/米国MVNO

グローバルICT事業

堅実な成長基盤

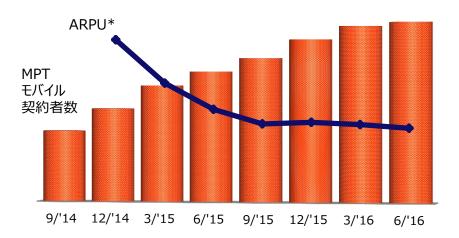
データセンター/SI/ ネットワーク

グローバルコンシューマ事業(MPT)



PT ミャンマーにおける通信事業を推進

契約者数は順調に伸長ARPUは安定化傾向に



MPTブランドの スマートフォンを販売開始

2016年9月



グローバルICT事業(TELEHOUSE)

コネクティビティと誘引力のあるパートナーによる優位性



Docklands North Two 8月運用開始

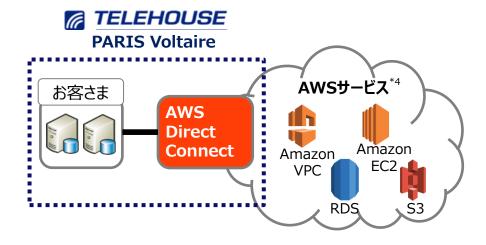
(ロンドン)

LINX^{*1}を含む530社超のモバイル・コンテンツ・クラウド 事業者が集積するDocklandsで4棟目運用開始









- *1) 英国最大の接続ポイントとインターネットトラフィックを有するIX事業者
- *2) 当社調べ(2016/8/3時点)
- *3) Amazon Web Services, Inc社が提供するクラウドコンピューティングサービスであるAWSサービスにアクセスすることができる、低遅延かつセキュアなインターネットを経由しない閉域網接続
- *4) AWSサービスの全ラインナップ: Simple Storage Service (S3), Elastic Cloud Compute (Amazon EC2), Virtual Private Cloud (Amazon VPC) and Relational Database Service (RDS). 等

まとめ

新中期目標の達成に向けて、国内外の事業を推進

上期 連結業績

- ・上期 営業利益 5,326億円。通期予想に対して60%の進捗
- ・パーソナルセグメントにおける「au通信ARPA収入増」と 「販売コスト削減」が、増益を牽引

事業戦略

- ① 国内通信事業・・・新料金プラン開始。UQ mobile推進
- ② ライフデザイン事業・・・サービス・タッチポイント・イネイブラーを強化
- ③ グローバル事業・・・グローバルコンシューマ・ICT事業を推進

Appendix

(億円)

				(1/6/1 37
	16.3期上期	17.3期上期	進捗率	17.3期 (予)
売上高	21,518	23,016	49.0%	47,000
営業利益	4,514	5,326	60.2%	8,850
営業利益率	21.0%	23.1%		18.8%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,775	3,261	60.4%	5,400
EBITDA	7,278	8,155	55.1%	14,800
EBITDAマージン	33.8%	35.4%		31.5%
FCF	1,417	4,400		3,500

セグメント別業績一覧(1)

(億円)

セグメント		16.3期上期	17.3期上期	進捗率	17.3期 (予)
	売上高	16,826	17,697	49.9%	35,500
	営業利益	3,514	4,232	61.3%	6,900
パーソナル	営業利益率	20.9%	23.9%		19.4%
	EBITDA	5,940	6,673	55.6%	12,000
	EBITDAマージン	35.3%	37.7%		33.8%
バリュー	売上高	1,260	2,092	47.5%	4,400
	営業利益	366	510	56.7%	900
	営業利益率	29.0%	24.4%		20.5%
	EBITDA	419	612	55.7%	1,100
	EBITDAマージン	33.3%	29.3%		25.0%

セグメント別業績一覧(2)

(億円)

セグメント		16.3期上期	17.3期上期	進捗率	17.3期 (予)
	売上高	3,099	3,081	48.5%	6,350
	営業利益	396	393	62.3%	630
ビジネス	営業利益率	12.8%	12.7%		9.9%
	EBITDA	628	618	56.2%	1,100
	EBITDAマージン	20.3%	20.1%		17.3%
	売上高	1,529	1,337	43.1%	3,100
	営業利益	199	147	43.3%	340
グローバル	営業利益率	13.0%	11.0%		11.0%
	EBITDA	254	212	44.1%	480
	EBITDAマージン	16.6%	15.8%		15.5%

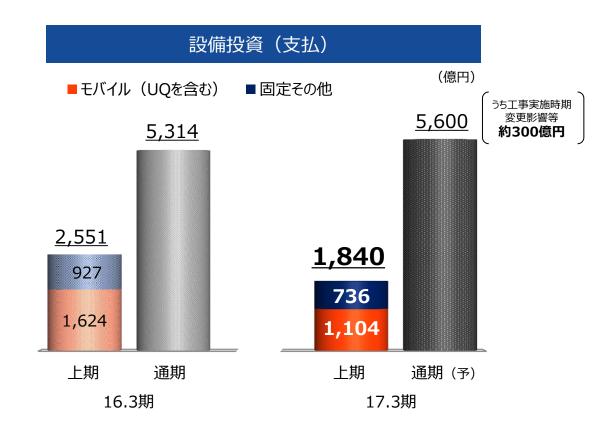
主要KPI一覧

セグメント			3/′16	9/′16	増減	3/′17 (予)
連結	au累計契約数	(万)	4,591	4,724	+133	4,871
パーソナル	au累計契約数	(万)	3,824	3,857	+34	3,924
	一人当たりモバイルデバイス数	(台)	1.414	1.425	+0.011	1.436
	スマートフォン浸透率	(%)	58.2	59.8	+1.6pt	
	auスマートバリュー(モバイル)	(万)	1,155	1,212	+57	
	auスマートバリュー(固定)	(万)	572	601	+29	
バリュー	auスマートパス	(万)	1,447	1,487	+40	
セグメント			16.3期2Q	17.3期2Q	YOY	17.3期 (予)
パーソナル&バリュー	総合ARPA	(円)	6,130	6,340	+210	6,230
パーソナル	au通信ARPA	(円)	5,700	5,840	+140	5,730
バリュー	付加価値ARPA	(円)	430	500	+70	500

17.3期上期

1,840億円

YOY ▲711億円 進捗率 32.8%



免責事項

この配付資料に記載されている業績目標、契約数目標、将来の見通し、戦略その他の歴史的 事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想または 想定に基づく記述であり、これらは国内外の経済環境、競争状況、法令・規制・制度の制定改 廃、政府機関の行為・介入、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。 従って、実際の業績、契約数、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは 大きく異なる可能性があります。 Designing The Future あたらしい自由。



